

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表の集計結果(公表)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	60%	40%		確保はできているが、子どもの成長を考えると十分とは言えない部分が出てきている。状況に合わせて対応していきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	80%	20%		基準以上の配置をしている。障害の特性に応じてマンツーマンでの対応が必要となると職員数が必要と感ずることがある。
	3	事業所の設備等について、こどもが怪我をしないよう適切に配慮がされているか	80%	20%		
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・階段手摺など）	40%	60%		運動用具の配置場所が心配。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	60%	40%		日々の療育の中で気付いた点などは共有し、次に活かしている。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	80%	20%		昨年度よりアンケートを実施し改善につなげている。
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%		今年度より実施する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	20%		月に一度の運動研修の機会を設けている。また、資格取得にも積極的に取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			6ヶ月ごとに、保護者面談を実施し、計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%		アセスメントシートの改善と更新が必要
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%		
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	80%	20%		
	13	活動場面ごとに課題を決め支援しているか	100%			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			集団での適応場面と、個別に対応する療育内容を組み合わせ対応している。

適切な支援の提供	15	支援開所前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%		担当割を明確にしている。利用者の状況を把握し、流れや緊急対応について確認している。
	16	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	80%	20%		子どもの把握や療育の振り返りを行い、全員が周知している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			個別支援記録を欠かさず記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			6ヶ月ごとにモニタリングを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	100%			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			保護者様からの情報が主だが、送迎の際に子どもの様子など気になることなどもお話している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	40%	60%		現在該当児童はいないが、契約時に細かく緊急連絡先を聞いている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	20%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	40%	60%		現在該当児童はいないが、卒業する児童の未来を考えた行動をしていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	60%	40%		今後ペアレント・トレーニング研修を受講していきたい。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時には分かりやすい説明を心掛けている。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			

保護者への説明責任等	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%		毎日のブログを更新している。本部からの会報誌の配布も行っている。
	32	個人情報に十分注意しているか	80%	20%		鍵付きの書庫にて書類管理を徹底している。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	20%	20%	60%	招待したことがないが、公園などで周囲の方に積極的に挨拶している。
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			緊急避難に際しては、引渡しリストを保護者様に提出していただいている。感染症においては、治癒証明書もしくは登校許可書を提出していただいている。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%	20%		内部研修と外部研修に積極的に取り組んでいる。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	100%			
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			保護者様の指示、対応を反映している。
	40	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	100%			